



参加者全員にひと言ずつ、「リンゴ」に対するイメージを語ってもらい、イメージを深めた後、実際に描いていく。顔彩(絵の具)を筆にたっぷり乗せ、自由に、ダイナミックに描く。色が混ざってにじまないように、色ごとに筆を替えるのがポイント。

「リンゴ」に描くことよりその人らしい絵と言葉が大事。墨のにじみやかすれが味わい深いので、思うままに描けば表情豊かに仕上がるのだそう。

描き終わった絵手紙は、その場で黒板に掲示して講師のアドバイスや「言葉が面白い」「色づかいがキレイ」と互いに感想を言い合う。良い意見ももらえるとうれしいので、次への向上心にもつながるようだ。「絵手紙は、人と人をつなげる赤い糸。親御さんに送るのもいいですね。52円の親孝行です」と内藤さん。歳を重ねた今だからこそ生まれる、味わい深い絵と言葉。ゆつたりと、自分を見つめ、相手を想いながら絵手紙を楽しんでみてはいかが。

取材協力 (一社)日本絵手紙協会 大阪事務所
講習会・絵手紙展会場/絵手紙ホール
『月刊絵手紙』・絵手紙道具・関連書籍販売
大阪市中央区本町3-5-5 カネセビル10階
受付/火~金 10時~17時
※最寄りの教室をご紹介することもできます。
☎06-4964-2202
http://www.etegami.or.jp/

「手書きの字からは、その人のぬくもりが相手に伝わります」と話すのは、日本絵手紙協会の公認講師である内藤美穂さん。大阪・本町にある同協会の大坂事務所では、定期的に絵手紙レッスンを

が行われ、毎回、絵手紙を生涯の趣味として楽しむ人がたくさん訪れる。絵の題材は、旬の野菜や植物など季節感があるものが多く、この日はリンゴ。内藤さんは「描くものに感動して描きまし

よう」と話す。描く前に題材について調べ、イメージを掘り起こすと、あたたかい言葉や楽しい言葉が頭に浮かぶのだそう。「相手がクスツとするようなユーモアを交えると、喜んでもらえますよ」。また、題材を学ぶことで知識が広がったり、四季に敏感になったりと、自分自身も豊かに成長できる。

いざ描き始めると、教室が静まり返る。集中力を高めて一心に筆を動かす時間は、自分自身に引き合うひととき。ささやかな自己表現だ。「どこからどう描いてもいいですよ。気の効いたことを書こうとせず、普段の言葉で自由に書きましょ

絵手紙教室(場所:左記 絵手紙ホール)
対象:『月刊絵手紙』定期購読者
毎月第二週 木曜午前/木曜午後/金曜午前
土曜午前/土曜午後
受講期間:4月~翌年3月(月1回、12か月)
受講料:37,000円(全12回)
申込方法:毎年『月刊絵手紙』2月号にて募集

手描きが伝えるぬくもりやユーモア 人と人がつながる絵手紙を楽しもう

一般社団法人 日本絵手紙協会

MY LIFE'S Good Season

人生で最も楽しい時

筆で描いた絵と言葉をハガキで送る「絵手紙」をご存知ですか?メールでのやり取りが増えたデジタル時代にも、絵手紙に惹かれる方がたくさんいます。日本絵手紙協会が主催する絵手紙教室を取材し、その魅力を探りました。50代からが、人生の“グッドシーズン”。さあ輝く毎日を始めましょう。



個性あふれる絵と言葉が
ずらりと並び、眺めるだけで
心があたたまるといふ。



色や筆の使い方を講師に教わりながら、10分ほどで1枚を描き終える。



絵手紙や描き方などを掲載した
協会が発行する月刊誌。絵手紙
教室の募集要項は2月号に掲載
される。(詳細は問合せを)



この日の絵手紙レッスンは公認講師の内藤美穂さんによる「絵手紙って深いね〜日常茶飯に目を向ける〜」というテーマで開催された。「2月なら、節分。こんな可愛らしい鬼の絵も楽しいですよ」。一年間に複数の講師から学ぶことができるのも魅力だ。

特別ゲストを招いた終活トークイベントを開催 「住み慣れた地域で 楽しく、自分らしく暮らしていくヒント」

スペシャルゲスト
フリーパーソナリティ
角 淳一さん(すみじゅんいち)
1945年1月1日、四條畷市生まれ。関西学院大学商学部卒業。1968年、毎日放送入社。従来のアナウンサーのイメージを変える大阪弁の語り口が人気となる。1996年、脳梗塞のため緊急入院。その後、心筋梗塞、不整脈、胆石、前立腺肥大などの病気を患う。毎日放送退社後の現在は「おとなの駄菓子屋」の統一タイトルで活躍中。

「かぞく法務相談室KOB&TAJIMA」(兵庫県行政書士会所属の行政書士3名で運営)では、これまでの経験と実績をもとに、相続問題や高齢者問題に積極的に取り組み、相談会やセミナーを開催している。今回は、関西でなじみの深い角 淳一さんをスペシャルゲストに招き、「笑って楽しく生きていく」ことをテーマにした講演会を企画。第二部のトークライブでは、角さんと同会代表との質問形式で健康・家族・相続などを中心に、暮らし方のヒントを伝えていく。この機会に「笑って楽しく生きていく」ヒントをみつけてみては?

第二部 聞き手
兵庫県行政書士会所属 行政書士
所神根 佳子(よしの よしこ)
阪神淡路大震災の年、父を緩和ケア病棟で看取る。以来、神戸の緩和ケア病棟のボランティアスタッフとして活動。また、訪問介護員として10年以上介護の現場でも働いていた。現在は、兵庫県行政書士会所属の行政書士として、高齢者問題や相続問題にあたり。

プログラム
【第一部】講演 角 淳一さん「笑って楽しく生きていく」
~ティータイム休憩~
【第二部】トークライブ(みなさんの質問から)
「健康と家族と相続について」聞き手 所神根 佳子

「住み慣れた地域で 楽しく、自分らしく暮らしていくヒント」
●日時:2/22(月)13時~15時(受付時間12時半)
●会場:ラ・スイート神戸オーシャンズガーデン
神戸市中央区新港町1-2※ラウンドワン三宮駅前店の前に専用シャトルバス乗り場あり
https://oceangarden.jp/
●料金:一人4,500円(ラ・スイートプレミアムケーキ&飲み物代含む)
●申込:右記まで電話にて。☎078-335-6311
※申込者には後日支払方法について案内あり※申込後のキャンセル、変更は不可
●問合せ:kazokukobe@gmail.com



主催:かぞく法務相談室KOB&TAJIMA 行政書士よしね法務事務所
神戸市中央区三宮町三丁目6-11 なかむらビル4F・5F ☎078-335-6311
後援:株式会社日本ネットワークサービス、エンディングノート普及協会、日本終活サポート協会
協力:さくら行政書士事務所、行政書士一木事務所

From CityLife MY LIFE'S Good Season 人生で最も楽しい時
読者モデル募集中
募集要項 対象年齢:50歳以上の方 応募方法:封書またはメールにて
①〒②住所③氏名④年齢⑤電話番号⑥職業⑦趣味⑧応募の動機を記載の上、上半身と全身のお写真をお送りください。
〒566-0001 摂津市千里丘1-13-23
シティライフ「グッドシーズン」
読者モデル係まで
メール info@citylife-new.com
※ご応募いただいた方は登録をさせていただきます。
ご依頼の際は編集部からご連絡させていただきます。

北摂・神戸人物シリーズ 23

北摂・神戸ゆかり紀行

板垣退助 稲束家

池田市
文・松田十泊
絵・山口千穂



1837~1919(大正8)。江戸末期から明治にかけて活躍した政治家、民権運動指導者。戊辰戦争では総督府参謀。そのあと土佐藩の家老格。国会期成や自由民権などの運動をして全国拡大に貢献し、大日本帝国憲法公布や帝国議会開設などにつながった。暴漢に襲われる事件などもあったが、毅然とした信念を通した。晩年は清貧の中で社会改良運動に専念した。

板垣死すとも、自由は死せず。この名言をはいたといわれる板垣退助。かつて100円紙幣の肖像だった人だ。その明治期の偉人だ。

人が池田市に来たことがあるという。板垣は土佐藩(高知県)の出身で、坂本竜馬らと同郷、同時期だ。ただ、倒幕の考え方が、公武合体の藩方針と合わず

に胸をいっただうだ。が、明治になってからは戊辰戦争で参謀をつとめるなど軍人としては評価された。明治前期前半は、数百年続いた武家政治からの革命期。西洋文明もどろどろと入ってきた。中央政界は薩摩、長州勢が牛耳っていた

る。板垣は、いわば「外野」から愛国公党を組織して、民選議院設立を建白したり、それがかなわないとわかると立志社を設立して、士族救済や授産事業を展開したりした。そんな中で自由民権運動の全国拡大に貢献し、自由党を設立した。明治15(1882)年4月、板垣は遊説先の岐阜県で暴漢に襲われ負傷する。冒頭の言葉はこの時のものだ。後日、この暴漢が板垣にあやまりに来たが板垣は根に持たず、かえって励ましたとい

う。明治22年、大日本帝国憲法公布。翌年には帝国議会が開設された。板垣が自由党総理(代表として活躍している)として活躍している。明治27年に、池田市を訪れたのだ。2月8日、大阪から人力車で来て、本町通りにあったという料亭・布袋楼(はていろ)で演説会。そのあと、豪商の稲束(いなづか)家へ。同家は、江戸期には頼山陽や松村呉春らが集う文化サロン的な場でもあったようだ。今も、往時のた



正面あたりに「池田停留場」があった



稲束家住宅。2階の虫籠窓が素晴らしい

明治期前半は、数百年続いた武家政治からの革命期。西洋文明もどろどろと入ってきた。中央政界は薩摩、長州勢が牛耳っていた

る。板垣は、いわば「外野」から愛国公党を組織して、民選議院設立を建白したり、それがかなわないとわかると立志社を設立して、士族救済や授産事業を展開したりした。そんな中で自由民権運動の全国拡大に貢献し、自由党を設立した。明治15(1882)年4月、板垣は遊説先の岐阜県で暴漢に襲われ負傷する。冒頭の言葉はこの時のものだ。後日、この暴漢が板垣にあやまりに来たが板垣は根に持たず、かえって励ましたとい

う。明治22年、大日本帝国憲法公布。翌年には帝国議会が開設された。板垣が自由党総理(代表として活躍している)として活躍している。明治27年に、池田市を訪れたのだ。2月8日、大阪から人力車で来て、本町通りにあったという料亭・布袋楼(はていろ)で演説会。そのあと、豪商の稲束(いなづか)家へ。同家は、江戸期には頼山陽や松村呉春らが集う文化サロン的な場でもあったようだ。今も、往時のた

たずまいはそのまま、時間が止まっている感じがする。稲束家の裏庭は、橋の西にあった摂津鉄道(池田停留場から尼崎へ向かった)という。竜馬や西郷さんのような派手さはないが、維新期の一人格の足跡ととらえたい。